

## 28年9月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年9月1日～ 28年9月10日

## 2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
9月分の回答企業数は7社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/9月	10月	11月
入荷動向	国産材製材品	0.0	14.3	0.0
	外材製材品	△ 7.1	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0
販売動向	国産材製材品	△ 7.1	14.3	0.0
	外材製材品	△ 21.4	0.0	0.0
	その他	△ 20.0	0.0	0.0
在庫動向	国産材製材品	0.0	14.3	7.1
	外材製材品	14.3	7.1	7.1
	その他	10.0	10.0	10.0

・製品市場への製材品の入荷は一部増減があるものの、総じて3ヵ月連続して横ばい。

・製材品の販売は9月の減少が、10月、11月は総じて横ばい。

・製材品の在庫は総じて3ヵ月連続して増加。

## (2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		28/9月	10月	11月
スギ	柱角 KD10.5×3	16.7	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	16.7	0.0	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	0.0	0.0
	母屋角	0.0	0.0	0.0
	タルキ	0.0	0.0	0.0
	間柱	0.0	△ 8.3	△ 8.3
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	0.0	0.0	0.0
	平割	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	0.0	16.7	16.7
	柱角 KD12×3	0.0	8.3	8.3
	土台角 10.5×4	0.0	16.7	16.7
	土台角 12×4	8.3	0.0	8.3
	通し柱 12×6	0.0	10.0	10.0
カラマツ土台角10.5×4	0.0	0.0	0.0	
米マツ平角	0.0	△ 10.0	△ 10.0	
米マツ割物	0.0	△ 10.0	△ 10.0	
北洋エゾマツタルキ	0.0	0.0	△ 16.7	
北洋アカマツタルキ	0.0	△ 25.0	△ 25.0	

・スギ製材品の価格は9月の柱角の強含み、10月、11月の間柱のやや弱含みを除いて、他は連続して横ばい。

・ヒノキ製材品は総じて9月の横ばいが、10月、11月はやや強含みに。

・カラマツ土台角は3ヵ月連続して横ばい。  
・米マツ平角及び割物は9月の横ばいが、10月、11月はやや弱含みに。

・北洋エゾマツタルキ及びアカマツタルキは9月の横ばいが、10月、11月は総じて弱含みに。

## モニターからのコメント

(荷動き)

・国産材、外材共に順調に入荷。スギ防音工事材にやや動きあり。アカマツ、WW、米ツガは横ばい続く。在庫は10月の記念市用に国産材、外材共に増加(関東)。

・季節要因(台風)のため入荷が遅れつつある。販売単価の伸び悩み、買いも低調。仕入れに対し販売の低調で在庫が増えた(中部)。

・スギ、ヒノキ共販売量が落ち込む中、外材のWWだけが大幅に増え、単月(8月)で外材が国産材の比率を上回った(7月外材46.2%が8月は50.3%) (近畿)。

(価格動向)

・年間数棟の大工、工務店の仕事状況が芳しくない。市場渡しのスギ材、販売価格に大きな変化なし。リフォームの仕事が増えてきたが、造作材の販売価格に大きな動きなし。ヒノキの構造材からスギや集成材の柱にシフトする工務店が増えて来た(中部)。

・スギ柱角 (KD10.5cm) 58,000円/m<sup>3</sup>、(KD12.0cm) 60,000円/m<sup>3</sup>、スギ桁角 (東北グリーン材) 40,000円/m<sup>3</sup>、母屋角 (東北材) バタ (二等) 30,000円/m<sup>3</sup>、スギタルキ (東北材) 45,000円/m<sup>3</sup>、スギ間柱 (KD) 60,000円/m<sup>3</sup>、スギ加工板 (東北グリーン材) 束2,600円、(KD) 束4,800円、スギヌキ (東北材) 40,000円/m<sup>3</sup>、(秋田材) 50,000円/m<sup>3</sup>、スギ平割 (プレーナー) 45,000円/m<sup>3</sup>、同 (ラフ) 43,000/m<sup>3</sup>、ヒノキ柱角 (10,5cmKD) 85,000円/m<sup>3</sup>、(12.0cmKD) 80,000円/m<sup>3</sup>、ヒノキ土台角 (10.5cm・12.0cm) 80,000円/m<sup>3</sup>、米マツ平角 KD65,000円/m<sup>3</sup>、米マツ割物AD 65,000円/m<sup>3</sup>、北洋アカマツタルキ (アセンブル単価) (S) 70,00円/m<sup>3</sup>、(P) 56,000円/m<sup>3</sup>、(バンドル単価) (S) 65,000円/m<sup>3</sup>、(P) 55,000円/m<sup>3</sup>(関東：売り先により価格変動)。

・スギ変わりなし。ヒノキに品薄感も出ている(中部)。